



アタラシ シゲユキ
新 茂之

Shigeyuki ATARASHI

講演

研修

学術調査

コメンテーター

所属・職名

文学部哲学科／文学研究科 教授

研究分野

プラグマティズム、形式論理学、科学哲学、ケア倫理学

研究活動

19世紀中葉に米国で生まれた哲学的動向として位置づけてよいプラグマティズムに興味を持ち、卒業論文でそれを主題にしてから、こんにち至るまで、その研究に専心している。とくに、多くの研究者がプラグマティズムの創設者とみなしているチャールズ・サンダース・パースの考え方に照準を定めている。パースに従えば、わたくしたちがさまざまに形づくっている概念の意味は、それに基づいて実際的に行為し、その結果、わたくしたちが現実を受けとる果実によって把握しなければならない。こうした観点からことばの意味を考えている。

**主要な業績
(著作・論文・研究
発表)**

『パース「プラグマティズム」の研究—関係と進化と立論のカテゴリー論的
整序の試み—』、晃洋書房、2011年

社会活動・その他

特筆すべき事項はない。

所属学会

日本デューイ学会、日本イギリス哲学会、日本論理哲学会、教育哲学会、同志社哲学会

キーワード

プラグマティズム、科学的探究、形式的論理、ケア、経験主義

https://kenkyudb.doshisha.ac.jp/rd/html/japanese/researchersHtml/108033/108033_Researcher.html